

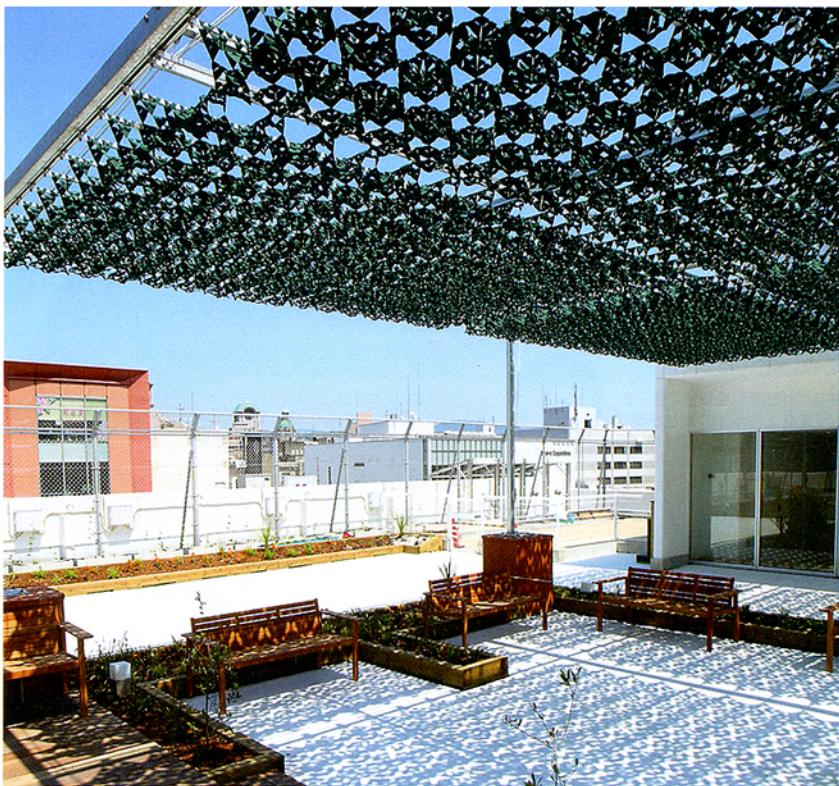
木漏れ日が揺れる木蔭の癒しをどうにでも。抜群の冷却効果を持つHIT時代のひよけ

株式会社ロスフリー

暑い夏でも木蔭は涼しいー。誰もが経験したことのある感覚だろう。そんな木蔭の心地良さを作り出す画期的な建築資材が注目されつつある。「フラクタルひよけ」というブランド商品で、平成21年度のグッドデザイン賞金賞も受賞。鹿児島では天文館の屋上庭園などで活用され、癒しの空間を作り出している。手がけるのはランドスケープデザインなども行う小さな建築会社。商品化・事業化の根底には、奄美にルーツを持つ独自の感性があった。

HITで機能的、自然も生かして 心地良い空間を創造する

社名は「Lifestyle Of Social, Function, Ecology & Economy」から頭文字を取って「LOSFREE」。提供するライフスタイルデザインは「社会に目を向け、機能性を追求し、環境にも配慮し、経済活動を促進させるものでなければならぬ」という思いが込められている。もともとは株式会社リフォーム鹿児島として創業。住宅リフォーム・建築・施工を行な中で、ランドスケープデザイン(景観と一体となった建築デザイン)に着目。こちらの事業を積極的に展開するようになって、平成22年に現在の株式会社ロスフリーと社名を変更した(関連会社である株式会社タモツ住建を社名変更し、リフォーム鹿児島が合併)。



木蔭と同様の効果が得られる「フラクタルひよけ」。風が抜けるので耐久性も高い。(マルヤガーデンズの屋上庭園「ソラニワ」)



奄美大島北部にある地中別荘「ヴィラファニー」。自然との共生をテーマに、地中別荘として風景と一体化させている。

保照光代表取締役は奄美大島出身。「亜熱帯の奄美独自の自然や文化の中で体験してきたことが、ランドスケープデザインに目を向けさせたんだと思います」と語る。海外に出かけて数多くのランドスケープデザインを見たまわるうちに、自分の手で風景を生みたモノ作りをしたいと思うようになったという。そうして作り上げたのが平成21年にオープンした奄美大島の地中別荘「ヴィラファニー」である。デザインは保社長の息子でランドスケープデザイナーでもある、保清人取締役が担当。設計・施工のほか、施設運営も自社で行う。オープン以来、隠れ家的なリゾート地として好評を博し、リピーターも定着している。

